

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局都市住宅課  
担当課長名：岡部 和憲

事業名 かいがんどおり 海岸通		事業区分 街 路	事業主体 北海道虻田町
起終点 自：北海道虻田郡虻田町字浜町20-4 至：北海道虻田郡虻田町字本町4-6		延長 0.5 km	
事業概要：海岸通は虻田町本町地区、及び浜町地区と国道37号を接続する延長約0.5 kmの幹線道路である。現在、当地区は家屋が密集し現道のない状況であり、防災上及び地域の居住環境の両面の向上を図るものである。			
H7年度事業化	S37年度都市計画決定 (H6年度変更)	H7年度用地着手	H11年度工事着手
全体事業費	約13億円	事業進捗率	60%
計画交通量	4,500台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 5.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 5 / 13億円 (事業費：5/13億円) (維持管理費：0/0億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 27 / 27億円 (走行時間短縮便益：27/27億円) (走行費用減少便益：1/1億円) (交通事故減少便益：-1/-1億円)
	基準年 平成16年		
感度分析の結果：交通量変動：B/C=2.2(交通量+10%) B/C=1.8(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.9(交通量+10%) B/C=2.1(交通量-10%)			
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・災害への備え（幅員6m以上の道路がないため、消化活動が出来ない地区が解消） 他3項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 有珠山噴火により事業が一時中止された期間もあったが、虻田町の関連事業も着手され、基幹道路としてまた防災対策道路としても重要性が増し、住民からの早期完成要望が多く寄せられている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 有珠山噴火により事業が一時中止された期間もあったが、虻田町の関連事業も着手され、基幹道路としてまた防災対策道路としてますます本路線の重要性が増している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成12年3月の有珠山噴火により一時中断されたが、その後順調に進捗し、現在0.2 kmを部分供用している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 有珠山噴火による一時中断期間があり事業期間が延びているが、現在まで用地買収、移転補償ともに全体の約7割弱が完了していることから、平成20年度に全線供用予定である。			
施設の構造や工法の変更等 海岸線と並行して整備される道路については潮風による塩害の影響を考慮した植栽計画(中・低木中心)とすることによりコスト縮減を図っている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。